越谷 小中一貫校だより【川柳版】

越谷市
教育委員会発行
令和5年1月

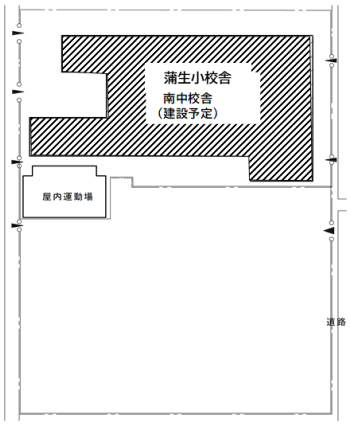
小中一貫校整備の延期に係る説明会を開催しました

令和4年11月15日（火）～30日（水）の期間において、蒲生小、蒲生南小、明正小、川柳小の1～5年生児童保護者、関係小学校周辺地域住民、関係小学校の就学予定児童保護者を対象に、小中一貫校整備事業を延期することに関する説明会を開催しました。

小中一貫校整備の方針見直し

令和8年4月3学園開校

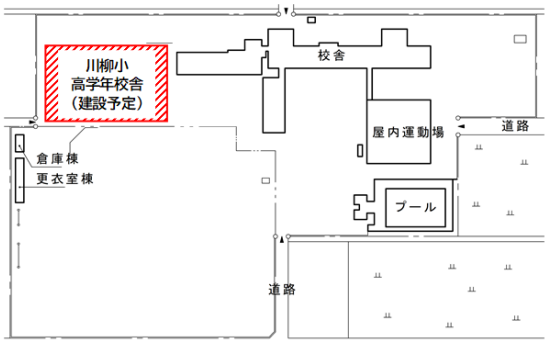
→ 令和9年4月3学園開校



蒲生新校舎配置イメージ図

3学園構想は継続します

・（旧）蒲生小敷地内に小中学校校舎を建設します
・（現）南中敷地内に川柳小高学年校舎を建設します
・（現）南中校舎等を活用して中学校を新設します



川柳小高学年校舎配置イメージ図

学園開校時の関係児童生徒

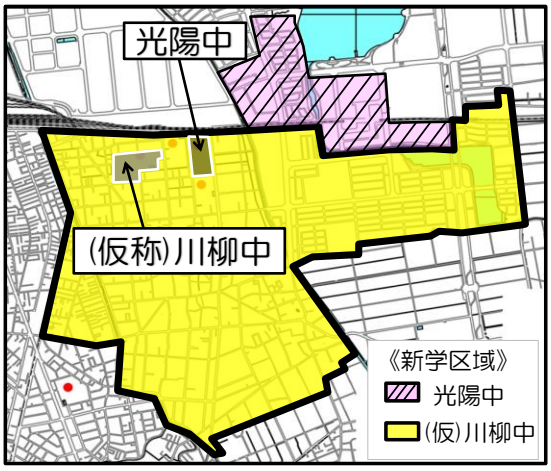
現在（令和4年度）の以下のお子さんが学園開校時（令和9年度）に小学校1年生から中学校３年生になります。

（年齢は令和４年４月１日現在）

令和4年度	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小4
令和9年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中３

（仮称）川柳中学校の通学区域について

（仮称）川柳中学校の設立に向け、令和8年度中に光陽中学校の通学区域の見直しを行う予定です。右図の太線で囲まれた部分にお住まいの児童の皆さんが令和9年度より新設の（仮称）川柳中学校へ入学、または光陽中学校から移動する予定です。前年度まで光陽中学校に在籍している現在の小学校3年生と4年生も令和9年度より光陽中学校から（仮称）川柳中学校へ移動する予定となっております。



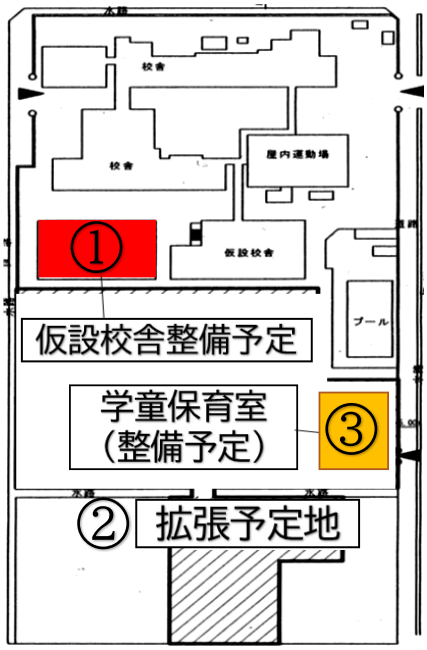
※説明会及び越谷市ホームページで配付・掲載した資料内の通学区域図は現在の光陽中学校の通学区域を示しているものとなります。小中学校学区審議会での審議を踏まえ、令和9年度より上記のような通学区域となる予定です。

小中一貫校整備以外の川柳小学校の整備について

(1)お伝えしているとおり、現在、右の「川柳小学校配置イメージ図」にある①の場所に仮設校舎を整備中です。

(2)②の場所にある川柳小学校南側の農地を令和5年度中には校庭等に整備し、川柳小学校の敷地を拡張する予定です。また、新しい遊具も拡張予定地に設置する予定です。

(3)プール南側の③の位置に新しい学童保育室を令和5年度に整備し、令和6年度より供用開始をする予定です。これに伴い、現在川柳小学校の校舎内に設置されている学童保育室は新しい学童保育室へ移動する予定です。



川柳小学校配置イメージ図

なお、説明会で配付した資料を下記越谷市ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

越谷市ホームページトップページ ＞子育て・学び ＞ 教育 ＞ 小中一貫校 ＞ お知らせ（保護者・地域の方へ）

説明会でいただいた主な質問と回答

説明会でいただいた主な質問とその回答についてお知らせいたします。

Q 学童保育室の整備については、整備事業の延期の前から整備する計画がありましたか。

A 学童保育室につきましては、学童保育を希望する方が多くいることから、令和5年度に整備を行う計画が元々あり、整備事業の延期により変更したものではありません。

Q レイクタウン5丁目が(仮称)川柳学園の対象になるとのことですが、現時点では大相模中学校区で、対象児童は大相模中学校から(仮称)川柳中学校に移動するのですか。

A これから小中学校学区審議会にて審議し、まずレイクタウン5丁目の通学区域を大相模中学校から光陽中学校に変更し、将来的に光陽中学校から(仮称)川柳中学校に再度通学区域を変更するよう手続きを進める予定です。

Q ニュース等の報道では延期は早くても1～2年となっていましたが、本当に1年間延期という計画でちゃんと進むのでしょうか。

A 今回の議会でのご指摘を受け、全庁的に小中一貫校整備について進めていく必要があることから、プロジェクトチームを結成し協議を重ねました。その結果、子どもたちへの影響を最小限に抑えるために1年間の延期で計画を進めることとしました。今回の議会否決を受け、ご指摘を受けた内容について改善するとともに、これまで以上に丁寧に説明をし、議会のご理解を得られるように努めていきます。

Q 学童保育室を拡張予定地に整備したほうが校庭を有効に使えるのではないでしょうか。

A 当初は拡張予定地に学童保育室を整備することを考えていましたが、建築の規制により拡張予定地には整備ができないことが分かり、今回の場所に整備することとなりました。

Q 川柳小学校の高学年校舎が供用開始後、学校行事は1～4年生と5～6年生で別々に行うことになるのでしょうか。

A 小中一貫教育の視点として、4－3－2制でカリキュラムを組んでいきますが、小学校6年間、中学校3年間という枠組みは変わりません。低中学年と高学年で交流をしたり、学校行事を一緒に行ったりする等、学校と連携しながら計画していきます。

Q PFI 手法でのスケジュールは1年間の延期ということですが、他の方法も検討したのですか。

A 入札のやり直しにあたり、子どもたちへの影響を最小限に抑えるという点から、PFI 手法以外の直接施工についても検討し、その場合でも同じような期間がかかる予定でした。コンサルタント会社にもアドバイスをもらい、PFI 手法で何とか1年の延期に抑えられるように計画を立てました。

Q 選定審査結果に疑義があるとのことですが、選定審査委員の人数や構成はどうなるのですか。

A 前回の3名に2名を加えるのではなく、新たに5名を選出します。審査委員の内訳としては、建築全般の専門家2名、教育施設に詳しい建築の専門家2名、総合的に学校教育に詳しい専門家1名としました。財務関係については、財務の専門家に別途依頼し、参加事業者の財務状況等をみてもらう予定です。

特色ある教育課程の編成に向けた取組を始めています

越谷市では平成27年度から市内全小中学校を中学校区の15ブロックに分けて、小中一貫教育に取り組んできました。その小中一貫教育を深化させる小中一貫校として、(仮称)川柳学園となる川柳小学校では、多文化共生を大きなテーマとして数年間をかけて特色のある教育課程の編成をし、総合的な学習の時間を核とした教育活動に取り組んでいます。

川柳小学校5年生
総合的な学習の時間で国際理解の学習を行っています

今年度、川柳小学校の5年生は総合的な学習の時間の授業で、「国際理解」をテーマに9月から勉強をしており、アメリカのメリーランド州チャールズ郡の小学生とビデオメッセージ等を介した交流を行う予定です。アメリカの小学生に紹介したい内容を自分たちで考え、内容や相手への質問を各グループの仲間と一緒に決めていきました。11月30日には文教大学の学生が来校し、ビデオ撮影を行いました。子どもたちの中には日本語だけでなく、英語を交えて発表を行っている班もあり、アメリカの子どもたちとつながるための工夫を行っていました。ビデオ撮影後、文教大学の学生にアメリカやその他の国の学校生活や食べ物、アニメなどについて教えてもらい、日本と外国の違いや共通点について学びました。

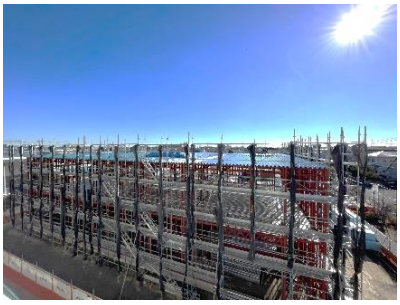
ビデオ撮影の様子

文教大学の学生による授業

新しい仮設校舎の整備が進んでいます

10月より新しい仮設校舎の整備が進んでいます。この仮設校舎は令和5年3月中に完成する予定です。校舎の中には普通教室を９教室、トイレ、昇降口、配膳スペース等を設置する予定です。

11月の整備状況



12月の整備状況